

じ必要な援助を行い、社会福祉の増進に御尽力いただいていることに感謝と敬意を表したい。今年改選年度であり、百七十世帯に一人の配置基準であるが、委員活動に支障ないよう、連合会等の御意見も尊重し市の方向性を示されたい。

**答弁** 国の示す配置基準では百七十世帯から三百六十世帯の間はいずれかの数字をとり世帯ごとに民生委員・児童委員一人を置くことと示されている。今回、その数字を百七十世帯として計算した場合、市内市で四十四名の増員と、旧四町四村で四十二名の減員が必要となる。おっしゃるとおり世帯の密度により、地域間により格差があるので、連合会でも協議をしていただき適切な配置をしていくよう事務を進めて参りたい。



佃 昌樹

### 学校外部評価制度について

**質問** 学校外部評価制度を導入する根拠と分析結果を伺いたい。評価委員会の構成・評価内容・資料提供・評価の公表については。子どもの学力評価・教職員評価と外

部評価との関係は。個人情報保護への配慮については。教育委員の学校担当制への検討はできないか。

**答弁** 外部評価制度の導入は、文部科学省が学校運営の改善に向け、望ましいとしてしている。これまでの評価では十分でなかったため、平成十九年度から試行する。委員会の構成は各中学校区ごとに地区の代表者等を、評価内容は教育課程や学習指導に関すること等を、資料提供は年度はじめに各学校長から学校経営案等について説明を、評価公表は適切な方法で保護者や地域住民へ公表したいと考えている。よって、子どもの学力評価及び教職員評価とは異なるものと考ええる。個人にかかわる情報は十分検討する必要がある。学校担当制は、すべての教育委員が市の小・中学校を見るのが望ましいと考え



今塩屋 裕一

### 耐震補助制度の導入について

**質問** 耐震補助制度の中で、他県の例では、耐震診断員の派遣や高齢者が居住する住宅への補助金の割増等をし、市民の費用負担を軽

減しているもので、本市にも取り入れられたい。また、耐震改修を行った場合、住民に係る固定資産税額が国の基準で一定期間半額になる。今後他の助成金にも力を入れ迅速な対応を。

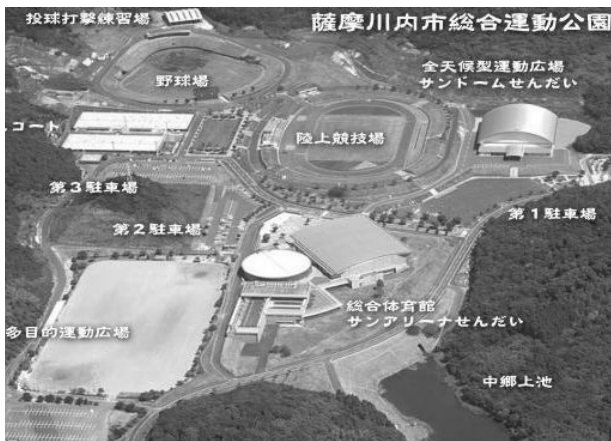
**答弁** 耐震改修促進法の一部改正により、耐震改修または耐震診断にかかる費用等の国の助成措置や固定資産税の二分の一減額などが措置された。これらの助成制度を受けするためには、耐震改修促進計画の策定が必要である。よって、できるだけ早く市の計画を策定し、県との連携をとりながら市の助成措置について検討して参りたい。

## 各常任委員会報告

各常任委員会は、それぞれ付託された議案の審査等を行い、主に次のような意見・要望が述べられました。

**企画経済委員会**  
委員長 堀之内 盛良

一月三十一日開催  
薩摩川内市観光振興基本構想



- (骨子案) について
- ①本基本構想を具体化していくための戦術・戦略を検討し、本市のブランドを構築できるような情報発信に努められたい。
- ②本市の知名度が向上するような施策を検討されたい。
- ③九州新幹線の全線開通時の本市経済効果も分析し、市民に潤いがあるような最終目標を設定されたい。
- ④本市のスポーツ施設を整備し、スポーツ選手等へ練習場として紹介し、あわせて県内外からの観光客誘致に努められたい。

⑤薩摩川内市内を観光できるように川内駅に案内板等を設置し、地域